

子ども・子育て支援事業計画(教育・保育事業)の実施状況

計画上の教育・保育必要量の見込み及び確保の内容【平成27年4月1日時点を見込んだ数値】

単位:人

区域	計画年度	利用者区分	A 量の見込	B 確保の内容				B 計	B - A	
				特定教育・ 保育施設	確認を受け ない幼稚園	特定地域型 保育事業	認定保育室			
市 全 域	平成 27 年度	1号認定	10,238	3,558	9,462			13,020	1,962	
		2号認定	学校教育を希望	820	6,454			620	7,074	564
			上記以外	6,510						
		3号認定	0歳児	954	754		76	124	954	0
			1・2歳児	4,375	3,459		167	749	4,375	0
		計		22,897	14,225	9,462	243	1,493	25,423	2,526
C 2号認定・3号認定分		11,839	10,667	0	243	1,493	12,403	564		

確保方策に係る実績値(定員ベース)【平成27年4月1日現在】

単位:人

区域	計画年度	利用者区分	A' 必要量	B 確保の内容				B 計	B - A'	
				特定教育・ 保育施設	確認を受け ない幼稚園	特定地域型 保育事業	認定保育室			
市 全 域	平成 27 年度	1号認定	9,386	3,074	9,462			12,536	2,366	
		2号認定	学校教育を希望	784	6,420			673	7,093	322
			上記以外	6,771						
		3号認定	0歳児	899	940		87	86	1,113	214
			1・2歳児	4,288	3,326		230	742	4,298	10
		計		22,128	13,760	9,462	317	1,501	25,040	2,912
D 2号認定・3号認定分		11,958	10,686	0	317	1,501	12,504	546		

のA「量の見込み」の数値は、平成27年度当初の時点を通算推計されているため、同年度当初の実績数値(利用ベース)をA「必要量」とする。

確保方策に係る実績値(利用ベース)【平成27年4月1日現在】

単位:人

区域	計画年度	利用者区分	A' 必要量	B 利用児童数				B 計	B - A	
				特定教育・ 保育施設	確認を受け ない幼稚園	特定地域型 保育事業	認定保育室			
市 全 域	平成 27 年度	1号認定	9,386	2,706	7,464			10,170	0	
		2号認定	学校教育を希望	784	6,253			518	6,771	0
			上記以外	6,771						
		3号認定	0歳児	899	792		41	66	899	0
			1・2歳児	4,288	3,530		187	571	4,288	0
		計		22,128	13,281	7,464	228	1,155	22,128	0
E 2号認定・3号認定分		11,958	10,575	0	228	1,155	11,958	0		

のA「量の見込み」の数値は、平成27年度当初の時点を通算推計されているため、同年度当初の実績数値(利用ベース)をA「必要量」とする。

「計画上の教育・保育必要量の見込み及び確保の内容」と  
「確保方策に係る実績値(定員ベース)」の差の検証について

(27年度当初定員と、計画上の教育・保育見込量の差分)

単位:人

区域	計画年度	利用者区分	A 必要量 (当初入 所数) - 量 の見込	B 確保の内容 (定員確保数 - 量の見込数)				B 計	B - A	
				特定教育・ 保育施設	確認を受け ない幼稚園	特定地域型 保育事業	認定保育室			
市 全 域	平成 27 年度	1号認定	-852	-484	0			-484	-	
		2号認定	学校教育を希 望	-36	-34			53	19	-
			上記以外	261						
		3号認定	0歳児	-55	186		11	-38	159	-
			1・2歳児	-87	-133		63	-7	-77	-
		計		-769	-465	0	74	8	-383	-
C 2号認定・3号認定分		119	19	0	74	8	101	-		

1号認定相当  
児童(私学助  
成幼稚園入  
園児含む)が、  
当初の量の  
見込に対し、  
実績が大きく  
下回った。

27年度当初の  
入所数から、計  
画上の27年度  
当初の量の見  
込数を差し引き、  
→見込数より入  
所児童が少な  
かった(多かつ  
た)数。

27年度当初の定  
員確保数(認可  
保育所、認定こ  
ども園)から、2  
7年度当初の量  
の見込数を差し  
引き。  
→見込数より多  
く(少なく)定員  
を設けた数。

27年度当初の定  
員確保数(小規  
模保育、家庭的  
保育、事業所内  
保育)から、27  
年度当初の量  
の見込数を差し  
引き。  
→見込数より多  
く(少なく)定員  
を設けた。

27年度当初の定  
員確保数(地方単  
独施設「相模原市  
認定保育室」)  
から、27年度当  
初の量の見込数  
を差し引き。

「確保方策に係る実績値(定員ベース)」と  
「確保方策に係る実績値(利用ベース)」の差の検証について

単位:人

区域	計画年度	利用者区分	A' 必要量	B 確保の内容 (定員数 - 利用児童数)				B 計	B - A	
				特定教育・ 保育施設	確認を受け ない幼稚園	特定地域型 保育事業	認定保育室			
市 全 域	平成 27 年度	1号認定	-	368	1,998			2,366	-	
		2号認定	学校教育を希 望	-	167			155	322	-
			上記以外	-						
		3号認定	0歳児	-	148		46	20	214	-
			1・2歳児	-	-204		43	171	10	-
		計		-	479	1,998	89	346	2,912	-
C 2号認定・3号認定分		-	111	0	89	346	546	-		

利用児童に対し、若干の受け皿  
不足。  
→1、2歳クラスについては、保育  
士を加配するなどして対応した。

全体の傾向と今後の対策

に対する の充足率 ... 113.2%  
うち、2号認定・3号認定分充足率... 104.6%  
うち、3号認定分充足率... 104.3%

当初の事業計画と実態について大きい乖離はないと考えているが、3号(0、1、2歳クラス)について、若干の受け皿不足が見受けられる。3号の定員拡充に向けて、引き続き、新規の保育所・地域型保育事業の整備と、認定こども園の移行の推進に努めていく。さらには、保育士等の人員加配を施設側に依頼し、ニーズに応じた柔軟な対応ができる受入体制が必要と認識している。